

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度第4回富士見市社会教育委員会議
開催日時	令和元年9月5日(木) 午後7時～9時
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	搦木道代議長、荒川照子委員、京谷恵子委員、佐々木真理子委員、高橋敏委員、古澤立巳委員、堀川博基委員、吉田徹子委員、吉田廣子委員、米山隆二委員 事務局
欠席者	なし
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1 協議事項 ・成年年齢引き下げに伴う成人式典の在り方について
会議資料	定期刊行物
会議録確認	搦木道代議長

## 会 議 内 容 (要点記録)

### 1. 開 会

○議長あいさつ

### 2. 協議事項

事務局より、配布資料について説明。

【議長】現在の中学3年生が、2022年に18歳成年となる年代であり、現在の高校1年生は、1年遅れて19歳で成年となる。事務局から提示された資料を基に、成人式の対象年齢や成人式の在り方など、各委員より意見を伺いたい。

【委員】他の方の意見を聞いて変わるかもしれないが、18歳での成人式は、式典を簡素化するきっかけになるのではないかと考える。学校事情によるが、近年では恩師を呼んで行っている自治体が多い中、教員の勤務形態の見直しなどが社会問題になっている。また、最終学年の担任が招待されることが多いが、教員の異動や定年などにより、必ずしもつながりの深い教員が最終学年とは限らない現状もある。近年は、私立に進学する児童もあり、恩師とのつながりが現代の成人者にとってどの程度なのか考えてみるよい機会ではないか。

【委員】成年年齢が18歳に変わるが、従来の20歳で認められていることがすべて可能になるわけではない。考え方が古いと言われるかもしれないが、成人式は、通過儀礼で人生の節目と考えると、20歳の集いなどに名称を変えて行うのが望ましいのではないかと考える。

【委員】今は成人式の実行委員会があると聞いているが、新成人の人たちが望む式典ができればよいと思う。世界では18歳を成人年齢としているところは多いと聞く。18歳の成人で、経済的や精神的に自立しているのかということ、そこはイコールではない状況があると思われるため、地域で見守っていきたい。

【委員】アンケートでみると、18歳で行うという自治体もある。おそらく、この自治体は18歳で行う意味や目的があると推測できる。富士見市の成人式を考えると、年齢の話の前に、式典の目的やねらいを押さえ、それを達成するためにどのような成人式にするのか良いか、そのためには何歳が適切かという話の進め方が良いのではないかと考える。一方で、現実的な側面からみると、20歳で行うことが妥当であると考えている。現在、埼玉県での大学進学率は58%となっており、受験シーズン中の開催は、式典の出席率をかなり下げることが想定される。簡素化と合わせて、式典の意味を考えるよい機会と思われる。

【委員】最初に話を聞いたとき、3年分の方の成人式を行うことは、現実的に厳しいと感じた。しかし、現在は実行委員会形式で行っているとのことであり、式典の在り方を考えるよいきっかけになると思う。また、18歳になり何ができるかという部分で、権利や責任、義務などを考える上で非常に重要であり、ひとつの区切りとして、成人式典があってもよいのではないかと考えた。

【委員】今の成人式は同窓会の要素がとても強いイメージがある。1月に行わなければ、受験シーズンとも重ならないのかもしれないが、20歳前後は、親より友達との話や時間を大切にしたいという傾向が強いと思う。友達との関係の中で、自分の進路や将来を考える若者が多いのではと考えると、できるだけ多くの方

が出席できる式典が望ましく、自分を振り返るよい機会として20歳がよいと思った。

【委員】18歳という年齢は、これから世の中の動きや仕組みについて学んでいく、経験していく時期と考える。「18歳で成人」と言っても、幼さも併せ持っている。社会人になる人、大学に進学する人、家族を持つ人など様々であるが、多少なりとも世間を知ったうえで、式典に臨むことが自覚や責任を促すうえで効果的と考えるため、20歳が妥当ではないか。

【委員】成人を迎える沖縄出身の学生に、式典について話をきいたことがあるが、式典への出席は絶対であり、一種の文化的事業になっているような印象を受けた。地域によって、感覚が様々だと思う。成年年齢の引き下げについては、先ほど「若い」という話があったが、自立や自覚、社会参加を早めに促していくことで、しっかりとした人間形成を行っていくという意図も考えられるため、見守っていきたい。式典については、大人が扇動すると若者は「そんなのやりたくない」という傾向、一方で若者に任せると、自主的に行うことは厳しいという状況の中で、うまく双方のバランスが取れているところが、今の状況ではないかと思っており、ゆえに落ち着いた成人式になっているのではないか。今後年齢の話をする中で、成人する若者たちがどのように成人したいか、自立や自覚などをどのように植え付けるか、また着物を着るなど記念にしたい若者の意向をどのように汲んでいくかを考えていくことが大事と考える。今後、成人式開催は18歳か20歳かという議論と、成人式の在り方の議論をするうえで、若者はどう思っているのか、大人はどうしたいのか、自立や自覚をどう促していくかを念頭に入れ、今後の各回の会議で課題解決を行いながら、結論を出していくのが良いと考える。

【委員】成人式はやはり同窓会的要素が非常に強いと感じる。クラス数が少なかった中学校はより一層その傾向がある。これから成人式を迎える保護者から聞いた話だと、今は新成人だけでなく、その保護者や祖父母も楽しみにしている。そのため、当日は付き添いとして新成人に同伴する人も多く、女子については和装の準備などを1年以上前から行っている。もし、18歳で成人式を行うとなると、やはり受験などと重なることから、経済的負担や時間的余裕の観点から厳しいという意見を聞く。何歳が妥当かまだわからないが、新成人にとって記念となる良い成人式が望ましい。

【委員】成人式を通過儀礼と考えると、昔は元服にあたり年齢も低かった。4年後に2歳低くなるからと言って、精神面や人間性において急に大きく変わるということは想定しがたい。18歳で行うとなると、会場の確保や経済的な負担などデメリットのほうが多いように感じられ、従来通り20歳で行うほうがメリットは大きいと考える。また、現在行っている新成人による実行委員会形式も18歳成人式では維持していくのが難しいのではないだろうか。やはり新成人の人たちが望んでいる成人式典がいちばん良い。

【委員】かなり遡るが昔は富士見市も1月ではなく11月に行っていた。市ではなく町の頃であったが、富士見台中学校が会場で、女子も和装はなく質素に行われた記憶があり、時代とともに、大きくあり方も変わってきたように感じる。

【委員】今の成人式は、ハッピーマンデーで第2月曜日であるが、昔は1月15日が成人の日であり、自治体によるかもしれないが、新成人は15日を境に分け

ていた。そのため、同じ学年であっても、15日前の誕生日の人は当該年度内の成人式だが、15日以降の誕生日の人は翌年の成人式に出席対象となっていた。式典に出席している人は、現代のように19歳と20歳が混在しておらず、全員20歳というかたちのスタイルだった。

【委員】転勤が多い家庭では、引っ越しが多いと学校も転向になるため、地元という感覚を得るのは難しいかもしれない。同窓会的要素が強い場合、参加しにくい新成人がいることも想定される。

【委員】今は成人式で女性はほとんどが和装であり、男性はスーツが多く、一部和装の人がいる。7人に1人が貧困と言われる世の中であるが、子供の一生に一度の晴れの日ということもあり、保護者の思いも感じ取れる。1970年代の富士見市では「ラン廃運動」でランドセルが禁止であった時期があった。保護者や祖父母からすると、子供の節目として七五三の次に小学校入学を楽しみにしていたが、ランドセルを背負っての記念写真が撮れないという声を聞いたことを記憶している。時代の流れはあるにせよ、子供の晴れの日は、大なり小なり家族の思いも強いと考えられ、成人式もその一つではないかと思う。参加したくなる、楽しい記念となる成人式が望ましい。

【委員】全体の流れでは、現実的な側面から20歳で行うのが望ましい傾向にあるが、やはり、意見としても出てきていた18歳の節目をどう考えるかという部分が大事ではないか。成年年齢の引き下げがなぜ18歳なのかを考えていく中で、成人式は何のために行うのか、在り方が見えてくるのではないか。また、成人式をなぜ行政が行うのかという疑問もある。「成年年齢」と言われるが「成人式」という名称についても、考えたい。

【委員】すでに意思表示をしている自治体もあると思うが、そこの自治体はどのような理由から従来通りの20歳で行うとしているのか。

【事務局】ホームページで見ると限りでは、やはり受験と重なるなどの現実的理由が多い印象であった。

【委員】今までやってきた富士見市の成人式文化があると思う。従来の式典で参加者が満足しているのであれば、あえて成年年齢の引き下げと共に、式典を変える必要はないように思う。実際の参加者から意見を聴取し、満足感を得ているのか否か、工夫が必要であれば、そこから課題解決に向け改善を図っていく。その中で、成人式の在り方や対象年齢が決まってくると思う。

【委員】今までに成人式に参加した人、これから成人式を迎える人、保護者、行政的にはどうか等、アンケートを行うと18歳か20歳かというところの判断はできると感じる。また、これまでの成人式で実行委員をやった人達が、富士見市の成人式は良かったのか、もしくは良くなかったのか、聞いてみると、これまでの富士見市の成人式文化がある程度見えてきて、在り方につながるのではないかと。

【委員】成人式を経験した実行委員の意見というのは、非常に参考になると思われる。その際に、年齢のことは問わず、式典の内容・中身について尋ねるのが良い。年齢を出してしまうと、対象年齢の話に終始してしまう感がある。

【委員】実行委員の人たちが、他の参加者、いわゆる同級生の意見を聞いたり、反応をみていると思われるので、そのあたりもアンケートで聞けると良い。

【委員】「成人式」という名称も、今後の在り方や方向性によって変わってくると思わ

れる。富士見市の方向性が決まった段階で、情報提供も早いほうが、新成人の方にとっては良い。

今後の会議の方向性として、①富士見市の成人式文化（これまでどのような成人式を行ってきたのか）②アンケートの取り方・とる対象について等を精査し、会議に反映させていくことを確認。

#### 次回会議日程

##### 令和元年度第5回会議

日程：令和元年10月17日（木）午後7時～

場所：教育委員会 会議室

### 3. 閉 会